市民意識調査の結果の概要をお知らせします

この調査は、市の施策についての感じ方や考え方を把握し、市がこれまで行ってきた施策や事業の検証を行うとともに、その効果や改善策、新たな取り組みなどを検討する際の参考にするために実施しています。調査結果がまとまりましたので概要をお知らせします。

詳しい調査結果は本庁舎行政情報コーナー、地域局市民フロアに設置するほか、市ホームページにも掲載しています。

問合せ　地域情報課☎89・2147

●調査概要

対象　市に住所を有する18歳以上の男女2000人

抽出方法　住民基本台帳から、年代別に等間隔、無作為抽出

調査方法　郵送による回答

調査期間　6月21日(金)～7月11日(木)

●調査項目

1 日ごろ感じていること
2 日ごろ心掛けていること
3 生ごみ、資源ごみについて
4 あなたご自身について
5 読書について
6 食育、地産地消協力店について
7 中心市街地について
8 市政について

回答状況

調査対象者数	2,000人
回答者数	857人
回収率	42.9%

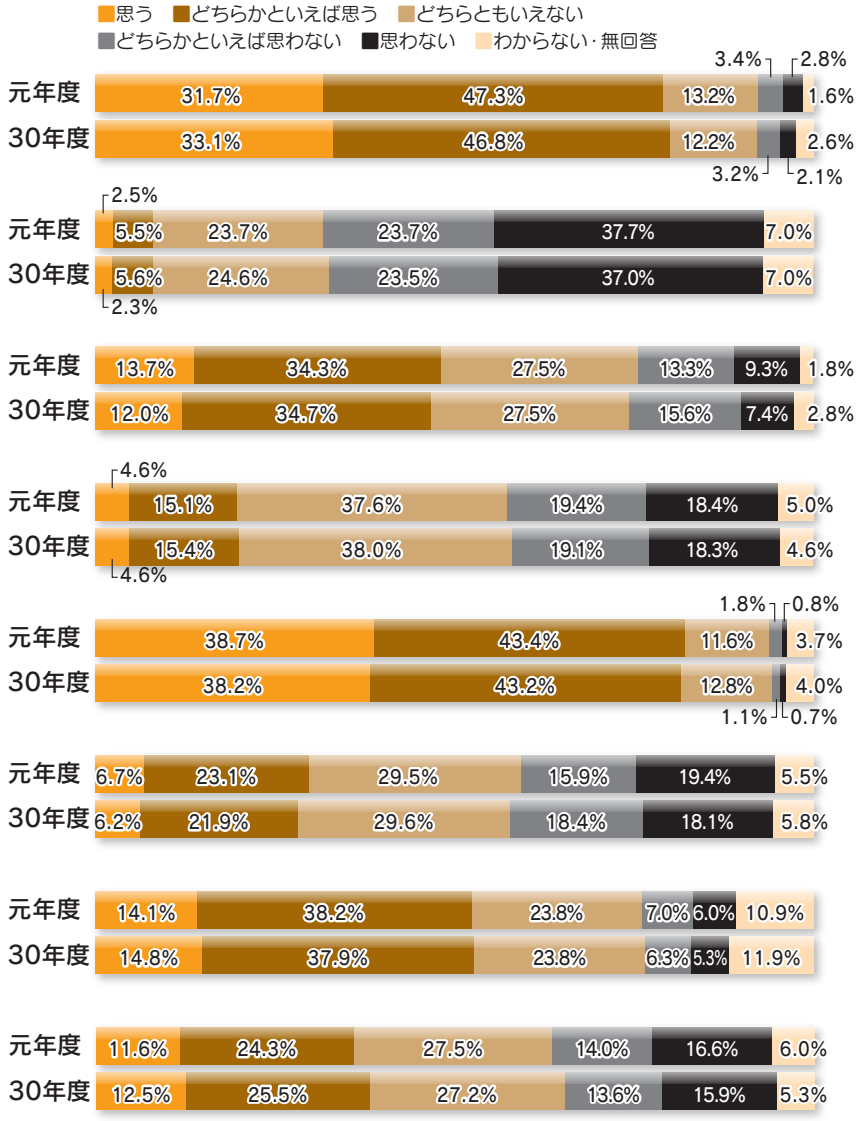
●性別

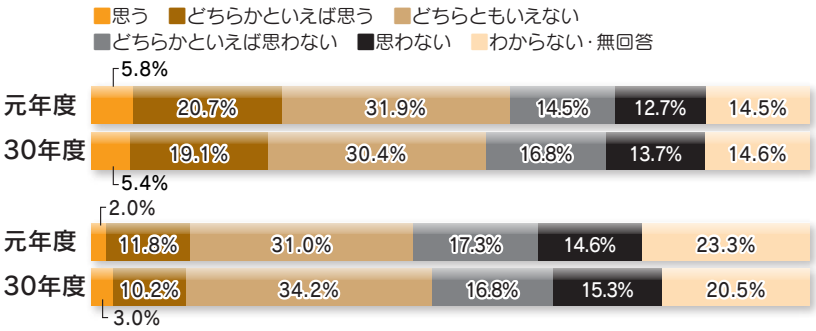
	回答数	割合
男性	394人	46.0%
女性	452人	52.7%
無回答	11人	1.3%
合計	857人	100.0%

●年代別

年代	回答数	割合
10代	19人	2.2%
20代	99人	11.6%
30代	133人	15.5%
40代	123人	14.4%
50代	139人	16.2%
60代	196人	22.9%
70代	140人	16.3%
無回答	8人	0.9%
合計	857人	100.0%

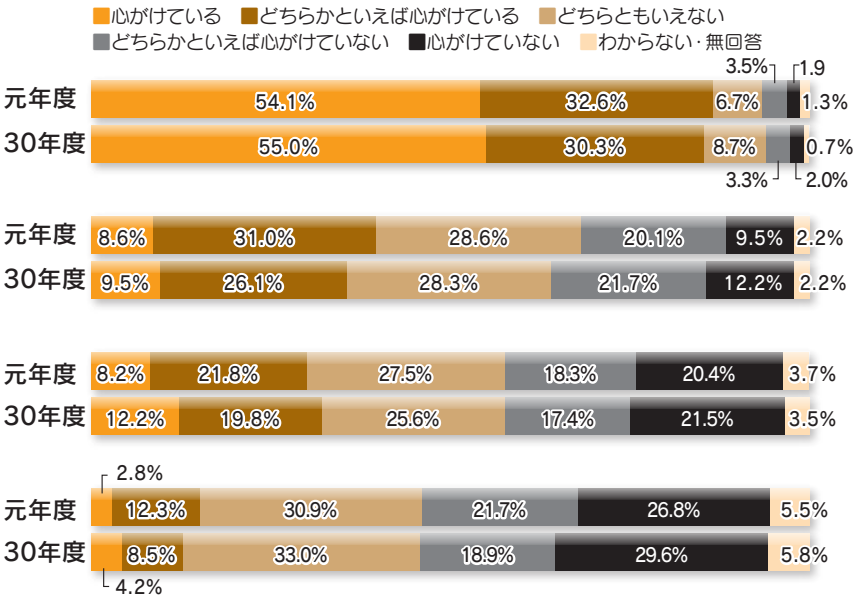
1．日ごろ感じていること





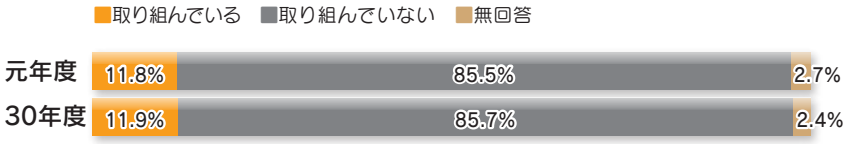
能代は住みやすいまちだと思うかについて、おおむね半数（48.0％）の人が肯定的意見（思う・どちらかといえば思う）である。「農産物は安全でおいしい」「犯罪等が少ない」といった安心安全に関する項目は肯定的意見が多いものの、「経済・雇用状況」「障がいのある人の社会参加」といった項目は肯定的意見が少ない。

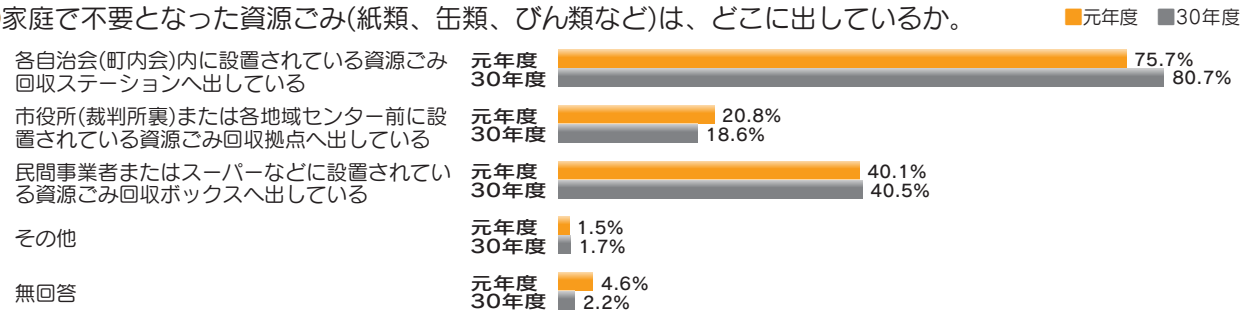
2．日ごろ心掛けていること



災害など、もしもの場合に普段から備えている人は、前年度と比較して４％増加している。
自治会・町内会やボランティア活動など、市民活動へ参加する人は、前年度と比較して２％減少している。

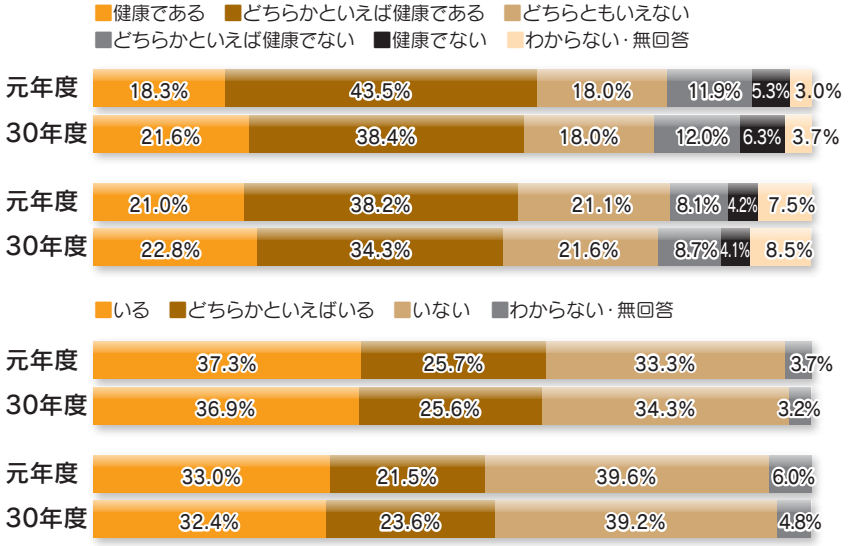
3．生ごみ、資源ごみについて





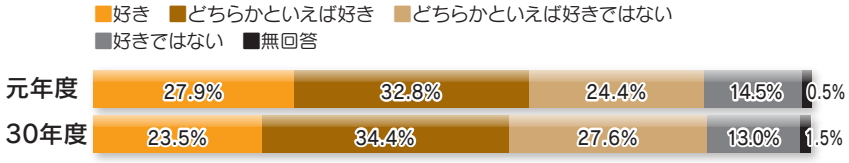
コンポスト容器などによる堆肥化は、場所や堆肥の使い道がないなどの理由により取り組むつもりがないとの意見が多く、ここ数年10％台で推移している。

4．あなたご自身について



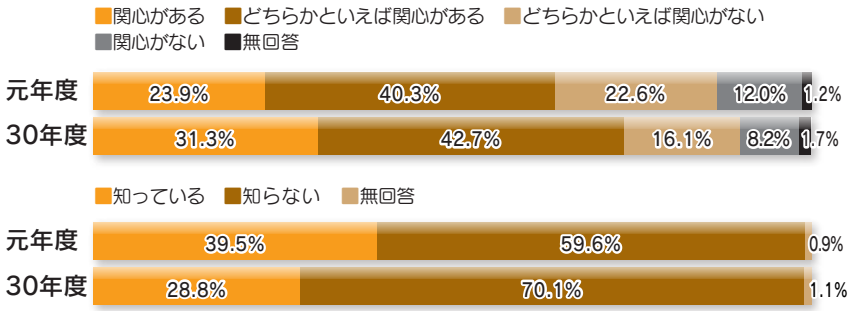
からだの健康・心の健康とも、肯定的意見（健康である・どちらかといえば健康である）が前年度と比較して2％程度増加している。

5．読書について



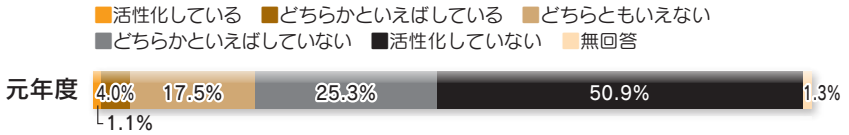
本を読むのが好き・どちらかといえば好きが前年度と比較して３％程度増加している。

6．食育、地産池消協力店について



食育に関心があるかについては、肯定的意見（関心がある・どちらかといえば関心がある）が10％程度減少しているものの、地産地消協力店の認知度は10％程度増加している。

7．中心市街地について

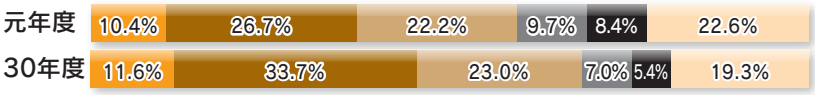


中心市街地が活性化していると思う人は５％程度にとどまっている。

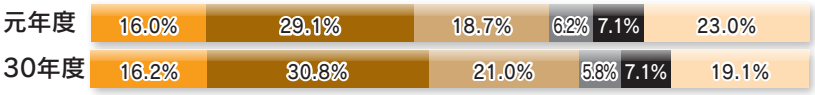
8．市政について

■思う　■どちらかといえば思う　■どちらともいえない
■どちらかといえば思わない　■思わない　■わからない・無回答

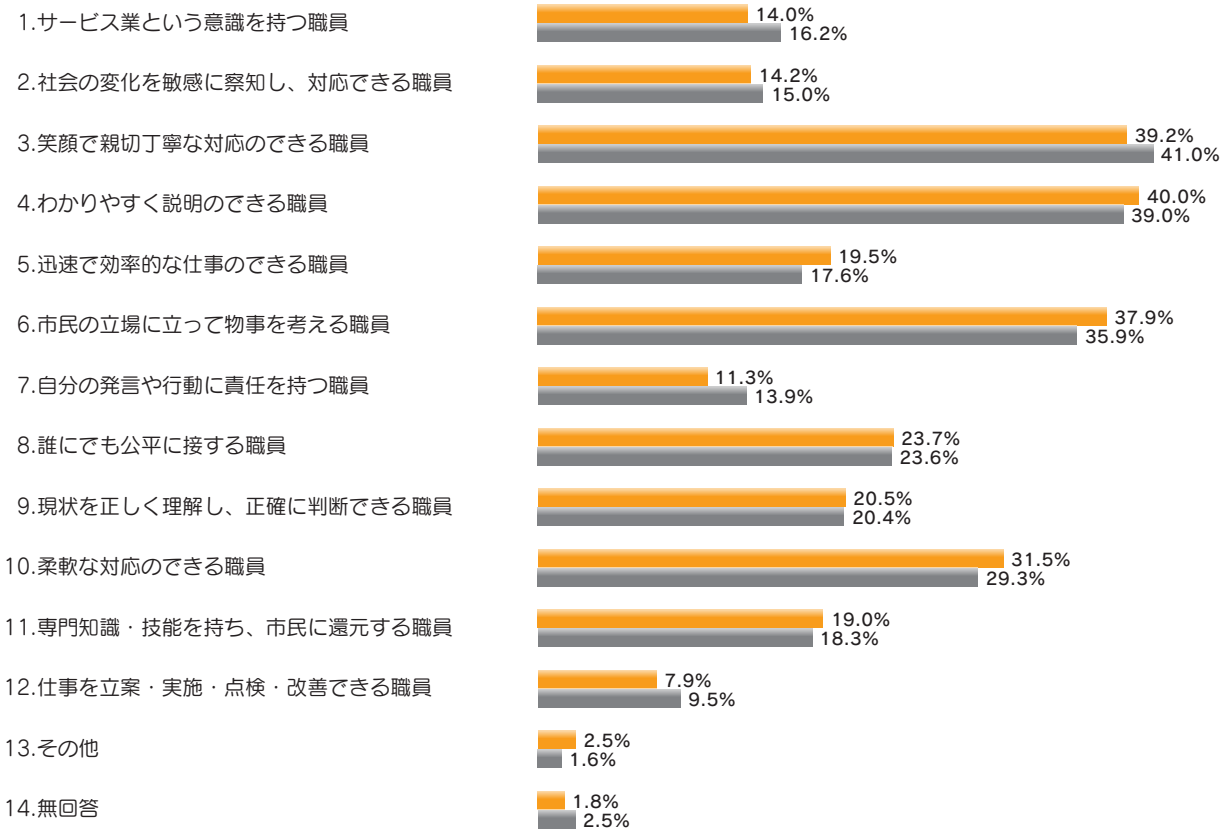
❶市の財政状況などについて情報提供が行われていると思うか。



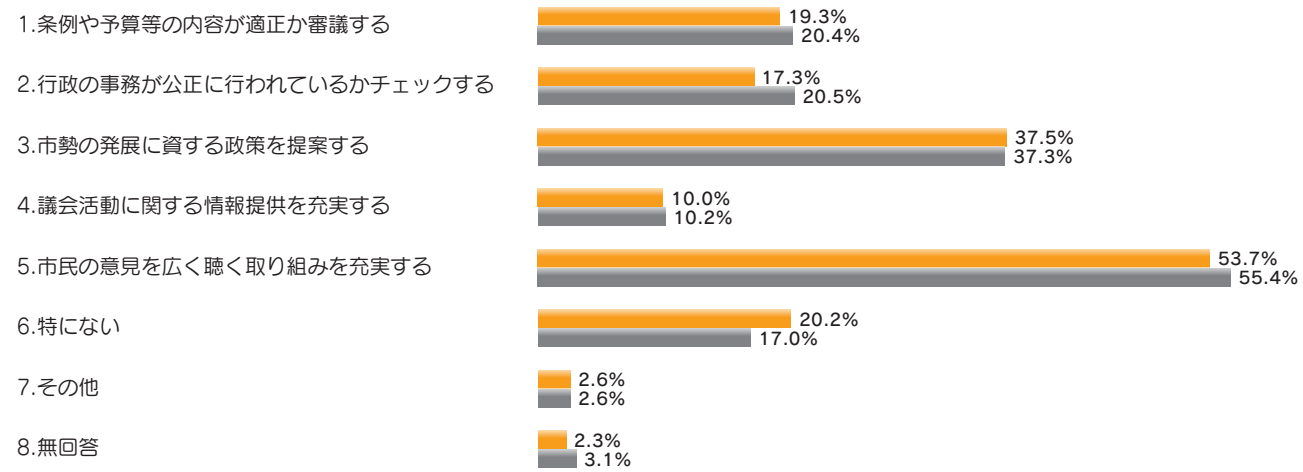
❷市職員は日ごろ仕事をよくやっていると思うか。



❸どのような市職員を求めるか。（3つまで）　■元年度　■30年度



❹市議会に対してどのようなことを期待するか。（2つまで）　■元年度　■30年度



市職員には「わかりやすく説明」「笑顔で親切丁寧な対応」「市民の立場に立って物事を考える」ことが求められている。市議会には、「市民の意見を広く聴く取り組み」「市勢の発展に資する政策を提案」が求められている。

※構成比は少数以下第２位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。